

事前評価チェックシート

計画の名称： 佐和駅を中心とした安心・安全に暮らせる拠点づくり（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 当地区は都市計画マスタープランの「都市づくりの基本的な方針」において、佐和駅周辺地区として拠点地区に位置づけられており、都市計画道路及び佐和駅東口交通広場の早期整備が求められている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 佐和駅へのアクセスが西側のみとなっていることが当地区の課題であり、東口広場や東西自由通路の整備を行い、交通結節点となる佐和駅の利用環境を改善することが求められている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 「安全・安心な街づくり」の達成度を計る指標として、地区内定住者、緊急車両到達可能範囲及び佐和駅利用者数を用いており、整備計画の目標と定量的指標は整合している。詳細は別紙参照。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 住民基本台帳ベースの人口、使用収益開始済の仮換地面積及びJR公表値を用いて、現況値と目標値を比較することから、定量的に目標達成度が計りやすく、指標は明瞭である。詳細は別紙参照。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 区画整理事業による都市基盤整備と併せて、佐和駅の利用環境を改善することで、佐和駅周辺地区の安全・安心な拠点づくりに繋がることから、目標と事業内容は整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 佐和駅周辺地区を一体とした整備を行うことで、佐和駅を中心に防災機能を備えた市街地形成が図られることから、事業の効果の見込みは妥当である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 平成26年3月に事業見直しの全体説明会を開催し、その後全地権者にアンケート調査を行った結果、約8割の地権者が都市計画道路及び佐和駅東口交通広場等を優先的に整備していくことに賛成しており、住民の合意形成は十分図られていることから、円滑な事業執行の環境は整っている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	

